

# 気仙沼の海洋ゴミ問題とポイ捨ての改善

1213C

## I 序論

気仙沼の海にゴミが見られる(問題)

➡ 起源である陸上ゴミを減らす(着眼)



ポイ捨てを改善すれば減らせる

…周知活動を行い改善を促す(取組)

**仮説:** 周知活動を行えばポイ捨てが改善され  
気仙沼の海洋ゴミ問題も軽減できる

## II 本論

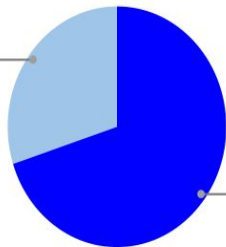
### 根拠①

#### 海洋ゴミの起原の内訳

参考: かながわ美化財団

直接捨てられたゴミ

30.0%



川から流れてきたゴミ

70.0%

川からゴミが流れてくる仕組み

人がゴミをポイ捨てする



風や雨とともに排水溝に流れる



川にたどり着く



ゴミが海へ放出される

つまり、**海洋ゴミの7割は陸上から来ている**

⇒ポイ捨てを防げば海洋ゴミを減らすことができる

## III まとめ・結論

一斉清掃活動のほかに

○一人ひとりがポイ捨てをしない

○海洋ゴミ問題の原因が自分たちの生活にあると自覚し、他人事と捉えないことが大切



### 根拠②

**ポイ捨てされたゴミが海にどのような悪影響を及ぼしているか知られていない**

➡ポイ捨てされた陸上のゴミと海洋ゴミの関係について認知されていない

リーフレットを作成し周知活動!

周知活動によって

- ポイ捨てと海洋ゴミの関連性
- 海洋ゴミ問題の現状
- 4Rについて
- 不法投棄とその処罰

について再認識してもらうことで、海洋ゴミ問題の原因が自分たちのごく身近にあるのだと気づいてもらう

⇒ゴミ問題に対する意識が向上し、  
ポイ捨てを防ぐことにつながる



海洋ゴミ問題の改善につながる!

参考文献: かながわ海岸美化財団

<https://www.bikazaidan.or.jp>

海と日本プロジェクト

<https://uminohi.jp>

(2022 1/21)